

化学物質管理に係る現状認識

平成 28 年 2 月
経 済 産 業 省
化学物質管理課

○事業者における化学物質管理の充実は国際的な要請

- 予防的取組の考え方を踏まえ、リスクベースの管理へ
- リスクが低いことを証明しなければ上市不可能（欧州等）

○こうした状況下でどのようにビジネスリスク、ビジネスコストを減らしていくか

- サプライチェーンにおける製品含有化学物質情報管理・伝達が鍵

○国際的な（特にアジアにおける）制度のハーモナイゼーションと知見の共有

- 製品含有化学物質情報管理の国際標準化（そのための「日本モデルの統一」）
- 現地の化学物質管理制度に対する日系企業の問題意識の強化

○フロン排出抑制法等の確実な施行、化審法等国内制度の見直し